



プレスリリース

2023年12月7日

マレリ CES 2024: Design-Led Innovation (デザイン主導のイノベーション) への旅

マレリは自動車メーカーと共創し
テクノロジーでパーソナライゼーションを支えます

- マレリは、どのように Software-Defined Vehicle 革命を実現するかを紹介する特別な体験を提供します。AWS (Amazon Web Service)、QNX、Qualcomm Technologies が提供するスケーラブルなハードウェア・アーキテクチャ、サービス指向のソフトウェア、クラウド仮想化技術を通じてご紹介します
- Digital Twin Studio では、来場者がインタラクティブなアプリを使って車両の機能を選択し、デモカーでその機能を作動させることができます
- Co-Creation @Speed エリアでは、マレリのデジタル・ツイン・テクノロジーを展示し、車両コンポーネントをクラウド上に複製し、over the air で設計、テスト、シミュレーション、機能の開発が加速する様子をご体験いただきます

自動車業界をリードするモビリティ・テクノロジー・サプライヤーであるマレリは、2024年1月9日から11日まで米国ラスベガスのウィン・ホテルで開催される **CES 2024** に出展し、最新のイノベーションを紹介します。招待ゲスト限定で特別に用意される体験では、Design-Led Innovation (デザイン主導のイノベーション) を目指すマレリのアプローチが紹介されます。

CES でマレリのホスピタリティ・スイートを訪れた招待ゲストには、車両共創プロセスの段階をカスタマイズされた旅のように楽しんでいただきます。最初のステップとして、招待客は Digital Twin Studio に入り、いくつかの嗜好に基づく質問に答えて、自分を最もよく反映したペルソナを作成します。このペルソナは、カスタマイズされた旅の後半で完成するデモカーに反映されず。来場者は、マレリのデジタル・ツイン・テクノロジーも体験いただけます。



Co-Creation @Speed エリアでは、来場者はマレリが提案する Software-Defined Vehicle がどのような価値をもたらすかについて学び、AWS (Amazon Web Services) 、QNX、Qualcomm Technologies が提供するテクノロジーを体験します。また、アーキテクチャのスケラビリティ、ソフトウェアのポータビリティ、ゾーン制御の標準化、クラウドの仮想化などに関して、マレリがどのような支援を行っているかをご覧ください。来場者は、クラウド上に自動車のコックピットを再現できるマレリの Digital Twin デモ機も体験できます。

Digital Twin Studio と **Co-Creation @Speed** を見学した後、来場者はブース内の 2 台のデモカーのうちの最初の 1 台の運転席に座ります。すると、ここで Digital Twin Studio で作成したペルソナベースの機能が起動します。来場者は、自分好みにパーソナライズされた 3D アバターと対話し、マレリが誇るピラー トゥ ピラー・ディスプレイ、アンビエント照明、スマートサーフェス、ドライバー・モニタリング、多機能 HMI 技術を体験します。薄型ライトモジュールとライトバー技術も車両前面に組み込まれています。

Design for Affordability エリアでは、マレリのライティングとディスプレイ技術を展示します。これらのソリューションは、ハードウェアとソフトウェアの設計を簡素化することで、部品点数の削減、軽量化、CO₂排出量の削減を実現し、従来のライティングやディスプレイ製品よりも低価格を実現しています。このような無駄のない設計コンセプトは、技術の最適化、製造のための設計アプローチ、サプライチェーンの現地生産化によって達成されます。

Design for Performance エリアでは、車両性能に関する技術、すなわち、マレリのフルアクティブ型電気機械式サスペンション・システム、ゾーン・コントロール・ユニット、統合熱管理モジュール、人工知能 (AI) によるワイヤレス・バッテリー管理システムなどが展示されます。

モビリティの未来は、プライベートな空間となる **Design for What's Next** で紹介されます。このスペースでは、マレリが次にデザインしようとしているもの、つまり AI を駆使した車内体験を一足早くご体験いただけます。先進的なオーディオとサウンド・ゾーニング、電動収納型ディスプレイとインテリア・コンポーネント、コンソール内プロジェクション、エコ素材、多機能インターフェース、路面投影機能付き高精細ヘッドランプ、マルチカラー・イルミネーション・フロ



ントパネルとグリル、外部メッセージ・ディスプレイ、リア・ウィンドウ・プロジェクションなどです。

マレリの社長兼 CEO であるデイビッド・スランプは次のように述べています。

「1月に開催される CES で、Software-Defined Vehicle を実現するビジョンを共有し、自動車メーカーと車両オーナーの方々にパーソナライゼーションの力をもたらす方法を示すことができることを嬉しく思います。Design-Led Innovation（デザイン主導のイノベーション）に重点を置き、AWS、QNX、Qualcomm との強力な協力関係を組み合わせることで、マレリスピードでお客様に幅広いソリューションを提供することができます。」

注釈：当文書は 2023 年 12 月 7 日に発表された英語版プレスリリースの翻訳です。プレスリリースの正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語版が優先されます。

1月10日（水）午前 7:30～9:00 に予定されているマレリのメディアツアーに、報道関係者の皆様をご招待します。ツアーには弊社幹部のほか、AWS 社オートモーティブ&マニュファクチャリング担当バイスプレジデント兼ゼネラルマネージャーの Wendy Bauer 氏、QNX 社 SVP の John Wall 氏、Qualcomm Technologies Inc.社 SVP 兼 GM の Nakul Duggal 氏が参加します。技術専門家による製品および技術のデモンストレーションも行われます。

マレリについて

マレリは、世界的な独立系自動車関連サプライヤーです。イノベーションとモノづくりに確かな実績を持つ当社の使命は、お客さまやパートナーと協力して、より安全で、より環境に優しく、よりコネクティビティの高い世界を造ることを通じて、モビリティの未来を変えることです。全世界に約 50,000 人の従業員を擁するマレリは、アジア、米州、欧州、アフリカに約 170 の施設や研究開発センターを有しています。